

(別紙) 評価基準

審査項目	審査の視点	配点
企画内容の 新規性・創造性	事業構成や企画内容は適切か。 (チェックポイント) ・事業の意図や目的等を理解し、仕様書に記載している内容から方向性が逸脱していないか。 ・幅広い層の関心を引くことができる内容か。 ・佐賀県とタイ・フィンランドにおける「コンテンツの対比・組み合わせ・融合」等を演出し、タイ・フィンランドとの関係性を県民が認識できるような工夫があるか。 ・他の企画にはない創造的なものがあるか。 など	20
内容の 妥当性	県のイベントに相応しい品位があり、現実的な提案か。 (チェックポイント) ・信頼性や品位が感じられるか。 ・企画が現実的かつ実現可能なものか。 など	5
広報内容の 創造性	広報の企画内容は適切か。 (チェックポイント) ・より多くの人が情報を入手できるような効果的な告知か。 ・幅広い層の関心を引くことができる内容か。 ・他の企画にはない創造的なものがあるか。 など	10
総合的な評価	その他、特に評価に値する点があるか。 (チェックポイント) ・斬新な工夫など特筆すべき点があるか。 など	5
実施主体の 適格性	体制図から、本業務が遂行可能な人員の確保がなされるとともに、効果的な人員体制であると認められるか。 (チェックポイント) ・イベントの業務実施体制が構築されており、県との連携を迅速に進めることができると思われるか。 など ・円滑な事業遂行管理や関係者間の意思疎通ができる体制か。 など	20
イベントの 開催実績	十分な実績を持ち合わせているか。 (チェックポイント) ・過去3年間に県関係機関や民間企業が発注する同種のイベント開催実績があるか。 など	10
業務内容に 関する専門 知識・適格性	事業者が専門知識・適格性を持ち合わせているか。 (チェックポイント) ・業務内容に関する知識・知見を持っているか。 ・業務内容に関する人的ネットワークを持っているか。	15
経費の 妥当性	各種見積金額は妥当か。 (チェックポイント) ・企画提案内容に沿って項目ごとに経費の内訳が詳細かつ明確に記載されているか。 ・内訳の額が不自然に高くないか、社会通念上適切な価格又は安価であるか。 など	15
合計		100

注意：最低基準点は審査員の評点の合計点の5割とする。(100点×5名×50%=250点)